

令和3年度富谷市立成田小学校学校関係者評価書

令和4年2月21日

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・コロナ2年目であるが、教職員、児童そして保護者等一丸となりコロナ対応に取り組み、学校教育目標達成に尽力し、地域とともに学校を作り上げようとしている姿勢が十分伝わってきている。体力づくり、心の教育、学習指導はもちろん、常に児童の実態に合った指導を創意工夫し、教職員間はもちろん地域と協力連携した各取組などを今後とも継続してほしい。
- ・全体的に風紀が整い、落ち着いた学校生活を送る児童の様子が見られていた。感染症や不審者の対策といったことへの対応に追われる中で児童の行動にも制限が出てしまうが、発想の自由や豊かな表現を出し続けられるようにと願います。
- ・コロナ禍でも家庭との情報共有はおおむね適切に行われていた。学校行事も開催要領を検討し継続できていたことで家庭や児童の満足度や納得感を得ることができていた。
- ・コロナ禍において、様々な工夫をしながら多くの行事を行っていることはとても素晴らしいし、子供たちにとっても楽しい学校生活になったと思います。また、学校だよりをはじめ、子供の活動がわかる取組が良いです。特にスタジオなりたをQRコードで紹介していることで保護者にもすぐに見られるようになったと思います。

(2) 成果について

- ・コロナ禍においても、各成果については十分満足に向上していると思う。学習面では上位に位置し、今後とも高い水準を維持してほしいと思う。すべての児童がコロナ禍という大変な時期に「学ぶ楽しさ」「団結の力」を実感できる授業づくり、環境整備等に教職員、PTAなど一丸となって一層の努力を、そして意欲をもって取り組んでもらいたい。
- ・前年度に比べ、特に大きく評価に表れた事項はないものと見受けました。
- ・感染対策や感染の可能性を発見した際の対処などが適切に行われていた。タブレット端末の活用により、授業の方法や内容も徐々にアップデートされてきている。
- ・コロナ禍の行事の実施、タブレット学力の向上。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・学校から情報を発信しているが、保護者などから理解や評価が十分得られていない面もある。特に関心が高い学力の向上、いじめ対策について積極的かつ具体的に発信し、分かりやすく説明するなど行っていくことが必要と思われる。いじめ問題、コロナ問題等中心とした課題、携帯電話やゲーム機など使用する際のルール・マナーの指導など保護者の果たす役割も極めて大きいと思います。何でも学校まかせにせず、保護者が自覚し、家庭と地域、学校との連携強化により、強力に取り組んでいくための体制づくりを双方ともより一層強める努力も必要と感じます。
- ・「自己評価シート」に関して、先生方が自信をもってA評価ができる項目がないのではとしました。特色ある活動や教育は「なんとなく」で生まれてくるものではないと思います。これだと言える特色がほしいです。

- ・地域協働や教職員の働き方改革については、積極的に外との連携を行っていく必要があると思料。他校との比較ではなく、理想との比較により成田小がロールモデルとなる意識で取り組んでいただきたい
- ・コロナ禍で人と関わる機会が減少する中、子供たちのコミュニケーション力の育成が大切であると感じています。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者地域への情報がお便りお知らせなどで提供されている。学年学級による差も改善されている。 ・施設設備がきちんと整備されている。安全管理についても点検が十分なされている。 ・成小まつりを中心としたたてわり活動により、上下学年の交流が図られている。今後とも継続してほしい。 ・Eメールと文書をうまく活用し、適時適切な情報配信が行われていた。 ・コロナ禍でも工夫し、学校行事が継続できていた。 ・令和3年度自己評価シートから職員の負担とストレスの大きさが読み取れる。教職員に余裕がない状態ではよい教育はできない。自助努力も大切だが、地域やPTAとの連携など外部資源の活用も検討すべきであると思料。 ・学校だよりの校長先生のお話や、スタジオなりたを見ていると、校長先生の思いや成小生の活動の様子がとてもよくわかりました。 ・コロナ禍で児童の安全を守るため様々なことに気を配られているからこそ、行事ができていると思います、ご苦労様です。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	A	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	B	
教育課程	1 確かな学力	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導など工夫されており、年々その充実が図られている。向上が認められる。 ・教員の心のゆとりがないようにも感じられる。管理職はその点を十分考えていただきたい。 ・授業の中で児童がもっと発言する場（コロナ禍の影響で発言が難しいのであればほかの方法でも自分の考えることを言葉に表す力）が必要だと感じました。 ・カリキュラムの情報が多くてわかりにくいという声があるが、具体的にはどういった課題があるのか不明。 ・子ども一人一人に応じた指導とは具体的にどのような授業を行っているのか、本当にできる体制がとれているか具体性に欠ける。 ・縦割り活動や成小6種などコロナ禍でも児童のモチベーション維持につながる活動は創意工夫し引き続き実施していただきたい。 ・以前授業を見せていただいたとき、各学年でICTを活用しており感心しました。また、外部講師を招いた音楽の授業などとても工夫していると思料
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	B	

			<p>ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成小まつりや防災に関する交流学習等異学年交流がとても良いと思いました。
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝早起き朝ごはん」が定着してきているが、一部まだな家庭も散見される。 ・特色ある活動について年々充実はしてきているが、職員及び保護者により一層の理解を求めるとともに更なる内容の充実を求めたい。 ・タブレット端末の活用については授業の中でも積極的に行われていると理解しており、素晴らしいと思う。先生方の努力によるものが大きいと思料。 ・家庭や地域社会、児童に対しての特別支援教育の理解の普及はどのように行われているか。要特別支援に限らず、個の差の理解は今の社会において重要であると思料。 ・不審者の侵入対策は具体的に何か行われているか。現状は出入りが軽易にできすぎているのではないか。 ・メダカの飼育は身近な環境を知る上でもとても有効だと思料。
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	A	
	4 図書館教育	A	
	5 健康教育	B	
	6 特色ある教育活動等	C	
	地域との連携について	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではどうしようもないが学校自体鋭意努力しているところが認められる。 ・協働教育の規模拡大は職員の負担軽減や児童にとっての学び、地域とのつながり強化などメリットは大きい。維持拡大を検討していただきたい。 ・コロナ禍でなかなか難しかったと思います。ご苦労様です。
	いじめ問題への取り組み	B	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し個人面談に力を入れてもよいと考える。(時間の許す限り担任において) ・いじめ問題については校長を筆頭に積極的に取り組んでいただいていることと理解。自己評価シートにあるように先生方のゆとりの確保が防止や適切な対応につながると思料。

